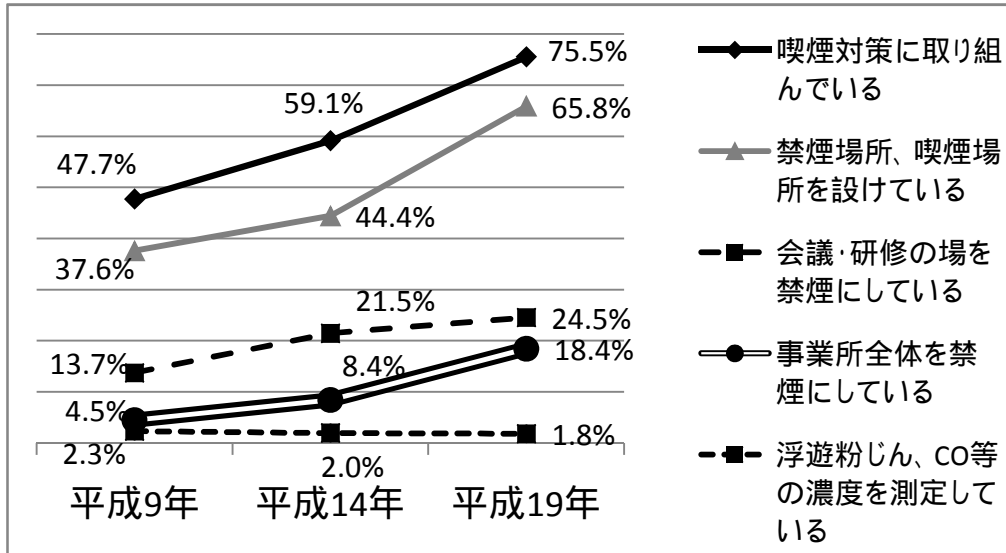


職場における喫煙対策の実態

・喫煙対策に取り組んでいる事業所の割合は増加している。
 ・特に、事業所全体を禁煙にしている割合は18.4%(平成19年)に増加した。

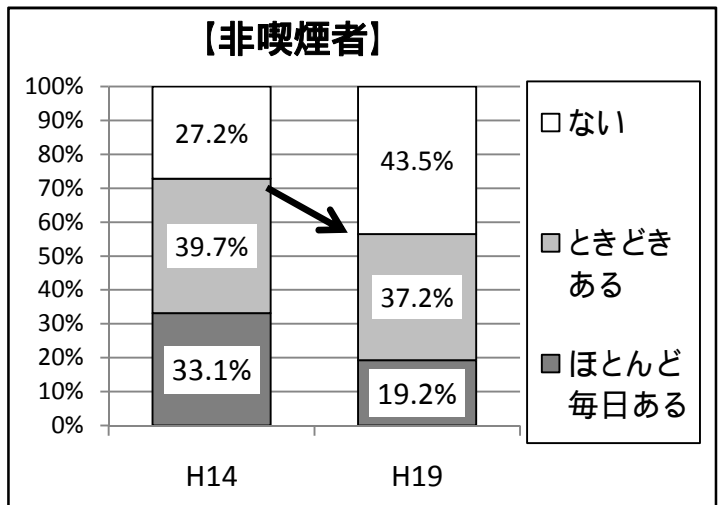
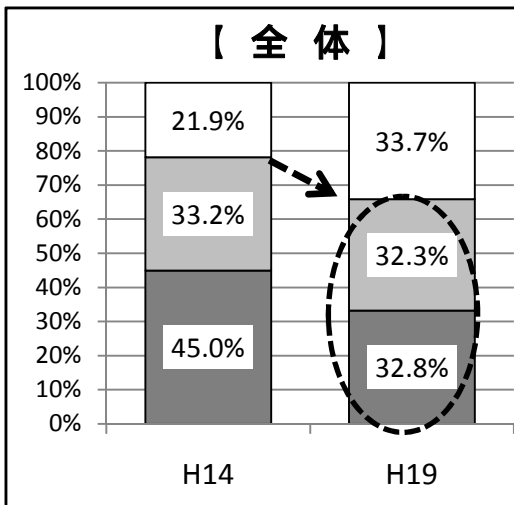
出典:労働者健康状況調査(厚生労働省)



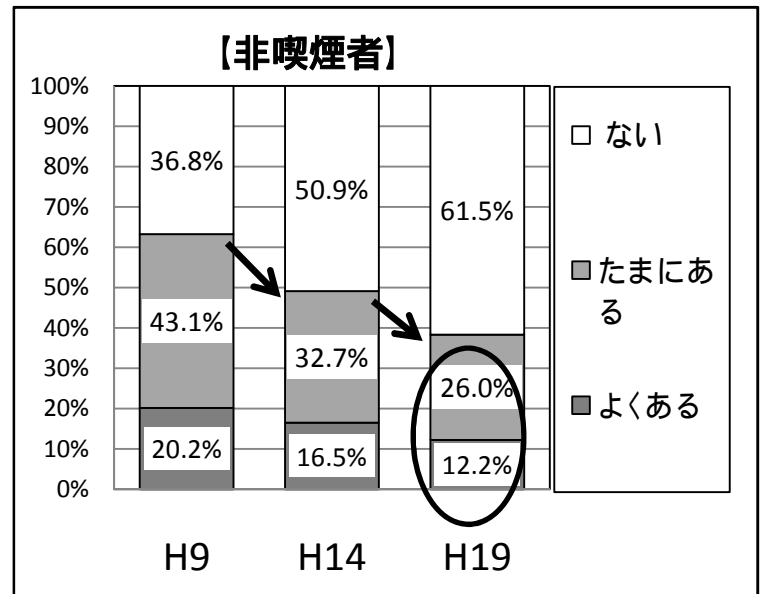
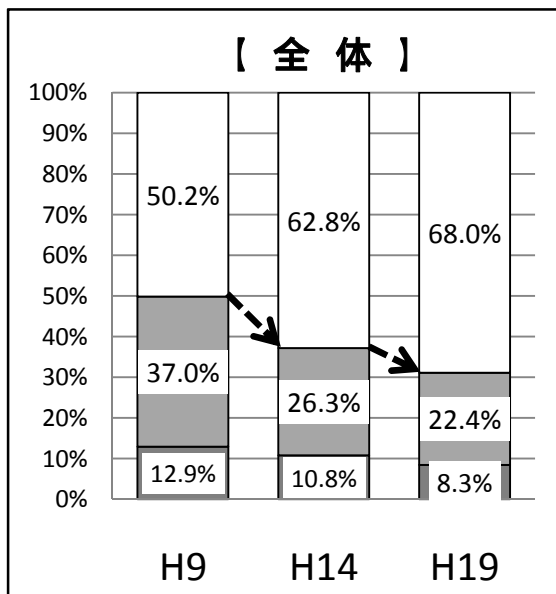
・喫煙対策に取り組んでいる事業所の増加に伴い、職場で他の人のたばこの煙を吸引することのある労働者の割合は減少しているものの、全体の7割近い労働者が今なお職場で他の人のたばこの煙を吸引することがあると回答している。
 ・また、職場での喫煙に関して、不快に感じること、体調が悪くなることのある労働者の割合も減少しているが、いまなお非喫煙者の4割近くが不快感、体調不良を訴えている。

出典:労働者健康状況調査(厚生労働省)

【問】あなたは、職場で他の人のたばこの煙を吸入すること(受動喫煙)がありますか？



【問】あなたは職場での喫煙に関して不快に感じること、体調が悪くなることはありますか？



職場に対し喫煙対策として望むことのある労働者は92.2%であるが、全面禁煙を望む労働者の割合は、24.0%である(平成19年)

出典:平成19年労働者健康状況調査(厚生労働省)

喫煙対策の改善を職場に望む労働者の割合	事業所全体を禁煙とする	喫煙室又は喫煙コーナーを設け、それ以外は禁煙とする
92.2	24.0	54.1

(単位: %)

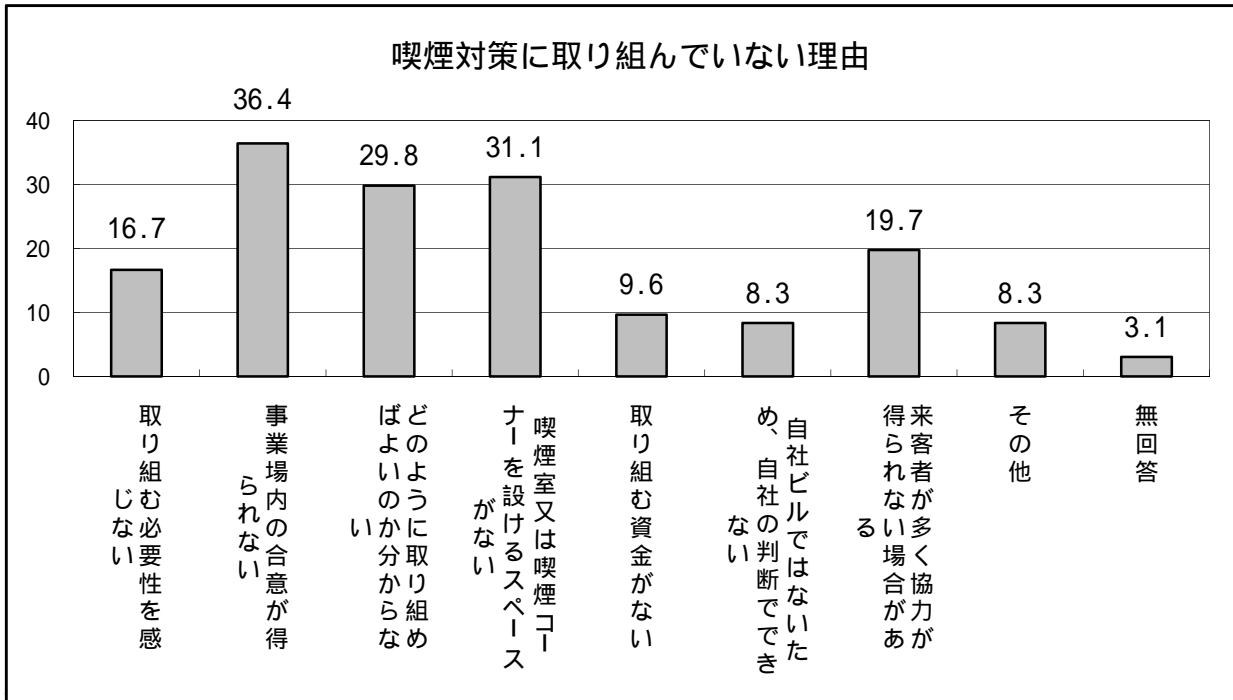
- ・ガイドラインで示している全面禁煙又は喫煙室を設けそれ以外を禁煙のいずれの対策も講じていない事業所は全体の53.6%であり、中小規模事業所に多い。
- ・全面禁煙にしている事業所は、規模(労働者数)が小さい方が多い傾向がある。
- ・喫煙室を設置している事業所は、規模(労働者数)が大きいほど多い。

出典:平成19年労働者健康状況調査(厚生労働省)

	事業所全体を禁煙にしている	喫煙室を設け、それ以外は禁煙にしている	左2つの対策をいずれも講じていない事業所の規模ごとの割合
全体	18.4%	27.9%	53.6%
事業所規模			
5000人以上	7.7%	92.3%	0.0%
1000～4999人	12.2%	74.0%	13.8%
300～999人	13.0%	64.8%	22.1%
100～299人	14.7%	49.8%	35.5%
50～99人	15.0%	37.2%	47.8%
30～49人	14.2%	32.5%	53.3%
10～29人	19.9%	24.2%	55.9%

アンケート調査では、喫煙対策に取り組んでいない理由として、多くの事業所が事業場内の合意が得られないこと、喫煙室等を設けるスペースがないこと、どのように取り組めばよいのかわからないこと等を掲げている。

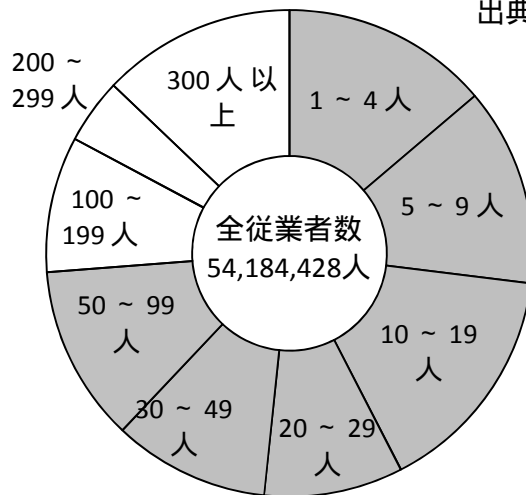
出典：平成19年度職場における喫煙対策の実施状況について（中央労働災害防止協会）



【参考】

規模100人未満の小規模事業所の従事者数は、わが国の従事者数全体の74%を占める。

出典：平成18年事業所・企業統計調査（総務省）



注：従事者数とは以下の～の合計

個人業主、無給の家族従事者、有給役員、常用雇用のうち正社員・正職員、常用雇用のうちパート・アルバイト、臨時雇用のうち1か月以内